

国語

[2009-I-2]

(I) 次の問題文を読み、後の問いに答えなさい。 1 13 の解答は解答欄にマークしなさい。

[Redacted text area]

[Redacted text area]

(溝井裕一『水族館の文化史』一部省略・表記改変)

注 1 「動物の福祉」は動物の虐待防止を目的として動物の利用そのものを否定しない立場であるのに対し、「動物の権利」は人間と動物の平等をうたい、動物利用に反対する立場を示す。

問1 ― 線部(ア～エ)と同じ漢字を用いるものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 1

ア

① チョウボウを楽しむ。

② チョウヤク力を測る。

③ 得意のゼツチョウ。

④ チョウハツ的な態度。
- 2

イ

① チキに再会する。

② 祭りのチゴ行列。

③ グチをこぼす。

④ 無我のキョウチにいたる。
- 3

ウ

① タイザンメイドウ。

② 運気がタイムイする。

③ チョメイな作曲家。

④ 人気があるメイガヲ。
- 4

エ

① 雨天につきジエンエンする。

② エンジエクした技芸。

③ 地下鉄のエンセンに住む。

④ ジサクジエン。

問二 線部(A、C)の語句の意味として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 5 A ① 正しさが証明されて ② 我がこととして受容して
③ 新しい物事が定着して ④ 深く考察されて
- 6 B ① 調達する ② 節約する ③ 購入する ④ 保護する
- 7 C ① 作業効率 ② 物事のやり方 ③ 育成された人材 ④ 統計データ

問三 (X)に入る語を、次の中から一つ選びなさい。

- 8 X ① ともだち ② 環境 ③ 生きもの ④ 家畜

問四 線部I「動物園や水族館に新しい物語を付与すること」はなぜ求められたのか。理由の説明として最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 9 ① 園館の来館者数が減っていく中で、環境問題に意識的に取り組んでいる姿勢を示すこと
によって、新しい顧客を呼び込む必要があったから。
- ② 動物や水族の乱獲が問題視されていく中で、新しい展示用の個体が確保できなくなっ
たため、別の観点から魅力をアピールする必要があったから。
- ③ 自然破壊の観点から、大規模な園館の保持が疑問視されるようになったため、自分た
ちの正当性を改めて訴える必要があったから。
- ④ 自然破壊や乱獲への批判が高まる中で、それに加担しているわけではないということ
を示し、自分たちの新しい立場を強調する必要があったから。

問五 本文中での用法において、線部a、dのうち品詞が異なるものを、次の中から一つ選びなさい。

- 10 ① a ② b ③ c ④ d

問六 (Y、Z)に入る語の組み合わせを、次の中から一つ選びなさい。

- 11 ① 管理―教育 ② 保全―観察 ③ 収集―運動 ④ 監視―飼育

問七 問題文の内容に合致するものを、次の中から二つ選びなさい。

- 12 ① 域外保全と域内保全は、これからも同等に重要であるとハッチンスは述べている。
- 13 ② 現地で保全スタッフを雇用するため、水族館は個体の捕獲を継続する必要がある。
- ③ 「環境エンリッチメント」のために、園館の展示計画はデザイナーが中心となるべきだ。
- ④ ハッチンスは、教育により人々が自ら保全運動に関わるようになることが重要とした。
- ⑤ 一九八〇年代、水族館の存在を環境保護の観点から批判する声は一般的ではなかった。
- ⑥ 日本の水族館では、国産淡水魚を購入に頼らず、繁殖によって維持してきた。

(II) 次の問題文を読み、後の問いに答えなさい。 14 26 の解答は解答欄にマークしなさい。

注1

(攝屋匠「眼がスクリーンになるとき」表記改変)

注 1 一九二五～一九九五。フランスの哲学者。 2 ドゥルーズの著書。 3 高次の。超越的な。
4 一七二四～一八〇四。ドイツの哲学者。人間の認識能力を感性・情性・理性という領域に分類した。

問一 — 線部 (ア～エ) と同じ漢字を用いるものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- | | |
|--|---|
| <div>14</div> <div>ア</div> <div>① ワヨウセツチユウの建物。
② チユウカイ業者に依頼する。
③ チユウづりの状態。
④ 候補者のチユウセンを行う。</div> | <div>15</div> <div>イ</div> <div>① ココウの態度を貫く。
② 自説にコシツする。
③ コテンを開催する。
④ エンコを頼る。</div> |
| <div>16</div> <div>ウ</div> <div>① カンセンチョウアク。
② カンカツが異なる。
③ 刑務所のカンシユ。
④ 国王のタイカンシキ。</div> | <div>17</div> <div>エ</div> <div>① キコウ文を書く。
② 機械をキドウする。
③ 教室のカンキを行う。
④ 実力をハツキする。</div> |

問二 — 線部 (A～C) の語句の意味として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- | | | | | | |
|----|---|----------|---------|---------|---------|
| 18 | A | ① 土台となる | ② 共通する | ③ 補助する | ④ 落差がある |
| 19 | B | ① 階層がある | ② 安定した | ③ 優劣がない | ④ 没交渉な |
| 20 | C | ① 応用力がある | ② 揺るぎない | ③ ありふれた | ④ 攻撃的な |

問三 — (X・Y) に入る語を、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- | | | | | | |
|----|---|---------|-----------|---------|---------|
| 21 | X | ① 芸術を総括 | ② ジャンルを越境 | ③ 理論を再生 | ④ 概念を創造 |
| 22 | Y | ① 猶予 | ② 負債 | ③ 特権 | ④ 影響 |

問四 — 線部 I 「ドゥルーズにとって映画は、哲学を「適用」する対象でも、哲学を使って「反省」する対象でもなかった」の理由として最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 23
- ① 哲学とは、単にほかの領域に当てはめるためのものではなく、むしろ映画を通して新たな概念を発明することこそが重要であるから。
- ② 映画作家が哲学的な枠組みを「適用」しながら行う自作の解説と、哲学者が行う小難しい映画分析とは、往々にして食い違ふものであるから。
- ③ 哲学的な概念を映画に対して一方的に当てはめることは、哲学と映画が有している〈普遍〉的な同題関係を切断してしまいかねないから。
- ④ 映画を「反省」あるいは「適用」の対象とすることは、哲学の〈普遍〉性を保証する理論的枠組みを揺るがしてしまう危険性を有しているから。

問五 — 線部 II 「画定」の「画」と異なる意味を持つものを、次の中から一つ選びなさい。

- | | | | | |
|----|------|------|------|------|
| 24 | ① 画然 | ② 画期 | ③ 区画 | ④ 画策 |
|----|------|------|------|------|

問六 問題文の内容に合致するものを、次の中から二つ選びなさい。

- 25
- ① ドゥルーズは、あらかじめ完成された万能な理論的枠組みとして哲学をとらえることを、〈普遍〉へと向かう「錯覚」として批判している。
- 26
- ② 「シネマ」はドゥルーズ哲学を応用して映画を分析した本ではなく、〈普遍〉的な哲学概念をアレンジしながら新たな思考の可能性を探ろうとした書物である。
- ③ 「シネマ」は「映画についての哲学」という試みを通して、従来とは異なる新たな「コミュニケーション」を哲学に持ち込もうとした書物である。
- ④ 「シネマ」は単なる映画史の本ではなく、映画を含む芸術ならびに哲学を包括的に扱うことによつて、哲学的な〈普遍〉概念を問いなおそうとする書物である。
- ⑤ 哲学の〈普遍〉性を自明のものとして、その万能性を認めることは、とりもなおさず哲学の無力を証明してしまうことになりかねない。
- ⑥ ドゥルーズによる「適用」への批判は、ほかの領域に対する哲学の普遍性を肯定する点において「反省」への批判と関連している。

〔Ⅲ〕

次の問題文を読み、後の問いに答えなさい。27 36 の解答は解答欄にマークしなさい。

つつしむべき年にて、過ぎにし二月の初午の日、龍蓋寺^{注1}へ詣ではべりて、やがてそれより初瀬^{注2}に、た
その程に参り着きたりしに、年の積もりにはいたく苦しう覺えて、師のもとにしはし休みはべりし
程に、うちまどろまれにけり。初夜の鐘の声におどろかれて、御前に参りて通夜しはべりしに、世の中
うちしづまる程に、修行者の三十四五などにやなるらむと見えしが、經をいと尊く読むあり。かたはら
近くゐたれば、「いかなる人のいつこより参りたまへるぞ。御經などの承らまほしからむには、尋ね奉
らむ。」と言ふに、この修行者言ふやう、「いつこと定めたるどころもはべらず。少しもの心つきて後、
この十余年、世のなりまかるさまの心とどむべくも見えはべらねば、人まねに、もし後世や助かるとて、
かやうにまどひありきはべるなり。」と言へば、^A「まことにかしこくおぼしとりたる事にこそ。誰もさす
がにこのことわりは思へども、^Bまことしくは思ひ立たぬこそおろかにはべるめれ。この厄、今まで世に
はべる、希^{注3}有^{注4}の事なり。今日明日とも知らず、今年七十三になむりはべる。三十三を過ぎがたく相^{注5}人
なども申しあひたりしかば、岡寺は、厄を転じたまふと承りて、詣で初めしより、つつしみの年毎に、
二月の初午の日、参りつるしるしにこそ、今まで世にはべるは。今年つつしむべきにて参りつる、身な
がらもをかしく、今は何の命かは惜しかるべきと思ひながら、年ごろ参りならひてはべるにあはせて、
やがてこの御寺へも参らむと思ひ立ちてなむ。今この御寺には、ひとくに後世助かりはべらむ善知識^{注4}に
会はせさせたまへと申しに参れるに、かくいさぎよく後世おぼす人に会ひ奉りぬるは、しかるべきにこ
そ。世を背く人もおのづからもの言ひふれたまふ人なきはたよりなかるべき事なり。この厄もひとくに
子ども思ひ奉らむ。又、必ず善知識となりたまへ。」と言へば、修行者「いとうれしき事なり。今日よ
りはさこそ頼み申しはべらめ。」とて、又、^C經など読みてぞとし果てし程に、後夜うち過ぎて、我も人
も眠られしかば、「修行しありきたまひけむ物語したまへ。目をも覺ましはべらむ。大峯・葛城^{注5}などには、
尊き事にも、又恐ろしき事にも会ひはべるなるは、いかなる事かはべりし。」と問へば、「年ごろは別に
さる事もなかりしに、一昨年の秋、葛城にてこそ、あさましき事に会ひはべりたり。常よりも
心澄みてあはれに覺えて、經を誦し奉りしに、(中略)九月上旬の十日頃の事にて、月の入り方になりは
べりし程に、ほのかにそのかたちを見れば、翁^{注5}の姿したる者の、あさましげに瘦せ、神さびたるが、
藤の皮を編みて衣とし、竹の杖をつきたるが来たれるなりけり。(下略)」 (水鏡 一部省略)

- 注 1 奈良県明日香村にある岡寺の別称。 2 奈良県桜井市初瀬にある長谷寺。
3 人相を見て占いをする人。 4 仏道に導く縁となる高僧。
5 ともに修験道の修行道場。

問一 ―線部(A～ウ)の語句の意味として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 27 ア ① 社会の出来事 ② 周囲の様子
③ 身の上のありさま ④ 人間の心のうち
28 イ ① 欲望を捨てる ② 仏門に入る ③ 死を覚悟する ④ 道理に反する
29 ウ ① 気がかりな ② 恐れ多い ③ 驚くべき ④ 気の毒な

問二 ―線部(A～C)の口語訳として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 30 A ① 実際に仏道の真理を悟られた
② 確かに堅実な発想をお持ちだ
③ 現実に即した解釈を下された
④ 本当に立派な決心をなさった
31 B ① 仏道修行の方法を理解できない
② 極楽往生の有難さが分からない
③ 現世の無常に実感がわかない
④ 実際に出家するには至らない
32 C ① 私もあなたを母親のように頼みに思い申し上げます
② 私もあなたに頼まれて仏道に縁を結び申し上げます
③ 私も多くの人から慕われ頼りにされたいと存する
④ 私も仏道修行を頼むべきより所にしようと存する

問三 ―線部I「經など読みて」の動作の主体は誰か、次の中から一つ選びなさい。

- 33 ① 善知識 ② 厄 ③ 修行者 ④ 長谷寺の師

問四 に入る助動詞の活用形として最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 34 ① しか ② き ③ し ④ ける

問五 問題文の内容と合致するものを、次の中から一つ選びなさい。

- 35 ① 厄は厄年毎に岡寺へ参詣を続けたため、七十三歳まで生き延びられたと考えていた。
② 修行者は家族と離別して回国していたが、厄と出会って高僧を目指す決意を抱いた。
③ 葛城山には古来神の化身である翁が住み、入山者の前に現れるという伝承があった。
④ 龍蓋寺はこの寺に参詣して通夜すれば、極楽往生が可能になるとして信仰を集めた。

問六 「水鏡」は鎌倉時代初期の成立と言われるが、これより後に成立した作品を、次の中から一つ選
びなさい。

- 36 ① 落窪物語 ② 大鏡 ③ 栄花物語 ④ 増鏡